

中間評価シート

中間評価（表紙）

大津市歴史的風致維持向上計画(令和3年3月23日認定) 中間評価(令和3年度～令和7年度)

■ 統括シート(様式1).....	2
■ 方針別シート(様式2)	
I 歴史的建造物の保全と活用.....	3
II 歴史的建造物の周辺環境.....	4
III 伝統的な祭礼行事、活動.....	5
IV 歴史や伝統文化に対する市民意識.....	6
V 歴史を活かした地域活性化や観光振興.....	7
■ 波及効果別シート(様式3)	
i 地域と大学との連携の促進.....	8
■ 代表的な事業の質シート(様式4)	
A 歴史的風致形成建造物への指定と保存のための整備.....	9
B 地域の人材活躍の支援.....	10
■ 歴史的風致別シート(様式5)	
1 近江八景と琵琶湖を愛する活動に見る歴史的風致.....	11
2 自然との共生に見る歴史的風致.....	12
3 琵琶湖とともに生きる町堅田に見る歴史的風致.....	13
4 港町・宿場町大津に見る歴史的風致.....	14
5 水城膳所城の城下町に見る歴史的風致.....	15
6 近江大津宮、近江神宮とその周辺の神社に見る歴史的風致.....	16
7 比叡山とその山麓に見る歴史的風致.....	17
8 三井寺を中心とする歴史的風致.....	18
9 石山寺を中心とする歴史的風致.....	19
10 山王祭に見る歴史的風致.....	20
11 大津祭に見る歴史的風致.....	21
12 船幸祭に見る歴史的風致.....	22
■ 庁内体制シート(様式6).....	23
■ 住民評価・協議会意見シート(様式7).....	24
■ 全体の課題・対応シート(様式8).....	25

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
① 歴史的風致			
	歴史的風致	対応する方針	
1	近江八景と琵琶湖を愛する活動に見る歴史的風致	Ⅳ	
2	自然との共生に見る歴史的風致	Ⅲ, Ⅳ	
3	琵琶湖とともに生きる町堅田に見る歴史的風致	Ⅱ, Ⅳ, Ⅴ	
4	港町・宿場町大津に見る歴史的風致	Ⅰ, Ⅳ	
5	水城膳所城の城下町に見る歴史的風致	Ⅳ	
6	近江大津宮、近江神宮とその周辺の神社に見る歴史的風致	Ⅲ, Ⅳ	
7	比叡山とその山麓に見る歴史的風致	Ⅰ, Ⅲ, Ⅳ	
8	三井寺を中心とする歴史的風致	Ⅰ, Ⅱ, Ⅳ	
9	石山寺を中心とする歴史的風致	Ⅰ, Ⅲ, Ⅳ	
10	山王祭に見る歴史的風致	Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ	
11	大津祭に見る歴史的風致	Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ	
12	船幸祭に見る歴史的風致	Ⅲ, Ⅳ	
② 歴史的風致の維持向上に関する方針			
	方針		
Ⅰ	歴史的建造物の保全と活用		
Ⅱ	歴史的建造物の周辺環境		
Ⅲ	伝統的な祭礼行事、活動		
Ⅳ	歴史や伝統文化に対する市民意識		
Ⅴ	歴史を活かした地域活性化や観光振興		
③ 歴史まちづくりの波及効果			
	効果		
i	地域と大学との連携の促進		
④ 代表的な事業			
	取り組み	事業の種別	
A	歴史的風致形成建造物への指定と保存のための整備	歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
B	地域の人材活躍の支援	その他	

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
方針	I 歴史的建造物の保全と活用	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】歴史的建造物の分布状況や各建造物の状況などの現状把握ができておらず、現状把握とそれに基づいた適切な維持管理を進める必要がある。また、建造物の修理や維持管理、防災性の向上には多大な費用を要することから、所有者の負担が大きいことも課題となっている。
 【方針】所有者や市民と連携した調査を実施し、歴史的建造物に関する現状把握や保護を図る。また、所有者に対する支援策を検討し、必要に応じて文化財等の指定などを行う。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	歴史的建造物の活用	2件の歴史的建造物を資料館等として活用	あり	R3～R12
2	歴史的風致形成建造物の指定と整備	7件の指定、5件の整備	あり	R3～R12
3	町家の利活用の支援	町家の日を5回開催	あり	H28～R12
4	未指定文化財の調査	R3からR7で6件の文化財を新規指定	あり	R3～R12
5	文化財保存修理などへの補助	R3からR7で約300件補助を実施	あり	R3～R12
6	大津市伝統的建造物群保存地区での修理修景への補助	R3からR7で8件補助を実施	あり	H10～R12

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

■ 歴史的風致形成建造物の指定と整備

建造物の所有者協力のもと、指定候補25件のうち、令和7年度までに7件を歴史的風致形成建造物として指定した。また、5件については令和6年度に創設した大津市歴史的風致形成建造物修理補助金を活用し、建造物の外観修理を実施され、歴史的建造物の保全が図られた。



R6年度
修理補助実施



■ 未指定文化財の調査

市内の未指定文化財について、所有者の承諾のもと、学識経験者などの指導を得ながら調査を実施している。令和7年度には6件が市指定文化財となった。



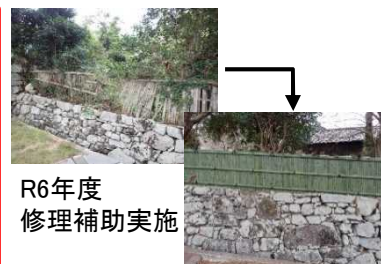
■ 大津市伝統的建造物群保存地区での修理修景への補助

重要伝統的建造物群保存地区の歴史的景観を維持向上させるため、伝統的建造物の保存修理事業や伝統的建造物以外の建造物に関する修景事業に対して補助金を交付し、良好な景観が保全された。

④ 自己評価

各事業により、歴史的建造物の修理を支援する制度を設置・運用することができ、文化財、歴史的風致形成建造物への指定を行いながら、その保護を図ることができた。

一方、解体される建造物もあることから、所有者や市民への更なる理解と協力を得て、保存を図っていく必要がある。



R6年度
修理補助実施

⑤ 今後の対応

今後も建造物の調査を実施し、所有者の理解を得ながら文化財や歴史的風致形成建造物の指定を進めるとともに、修理補助制度により保全の支援を推進していく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
方針	Ⅱ 歴史的建造物の周辺環境	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】建造物や工作物については、景観計画に基づく届出制度や屋外広告物条例に基づく許可制度が運用されているものの、一定の数値基準等では、歴史的まちなみ景観を保護することが難しい。一方、田園景観は担い手不足や獣害などに伴って、環境の保護が課題となっている。

【方針】景観計画、屋外広告物条例の改定により、本市にふさわしい景観形成を図る。また、駐車場や空き地の増加を防ぐとともに、道路の美装化や無電柱化、周辺の一般建造物の修景支援などにより、市街地環境の整備を図る。さらに、歴史的な風景を構成する要素の保全、活用を図る。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	大津市景観計画の改定	大津市景観計画の改定 大津市景観計画ガイドラインの改定	あり	R3～R6
2	景観保全型広告整備地区の新規設定	景観保全型広告整備地区の検討	あり	R3～R12
3	まちなみ修景整備への補助	R3からR7で7件補助を実施	あり	R3～R12
4	道路の美装化	市道幹1016号線、市道中2524号線、 市道中3315号線で実施	あり	R4～R12

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

■大津市景観計画の改定

大津市景観計画は策定後15年あまりが経過しているため、令和4年度から令和6年度までの3か年をかけて、計画の大幅な見直しを行い、第2次大津市景観計画を策定した。令和7年11月から施行し、良好な景観形成を推進している。

■まちなみ修景整備への補助

堅田地区の景観協定の区域および坂本地区景観形成実施計画の計画地区内の地区計画として定めた区域を対象に、景観に配慮した建造物の外観の整備を行う者に対して修景補助を行い、良好な景観保全が進められた。

主な変更点

① 景観区を「景観エリア」に再編

景観計画では、それぞれの地域特性に合った方針を定めるため、市域を区分している。地域特性に基づき市内を区分する景観地域は旧計画から踏襲しつつ、景観形成の基本単位については、細分化され分かりにくくなった景観区を再編し、土地利用の現況や用途など景観特性の違いに応じて指定する景観エリアを新たに指定する。



② 景観重点区域を設定

景観上重要な地域で、これまでも地域住民と行政の協働により地域で育まれてきた特性を活かした景観づくりに取り組んでいる「堅田地域」「坂本地区」「大津百町地域」の3つの地域を対象に景観重点地区を指定し、それぞれの地区に応じた景観形成基準などを定める。

景観重点地区の景観計画に関する方針（イラスト）



③ 対岸眺望景観保全地域を設定

令和3年3月に策定した「びわこ東海道景観基本計画」に基づき、草津市側から本市側の水と緑の大景観などを望むことができる「対岸重要眺望点」およびその視対象となる景観に影響を与えると考えられる建築行為などを誘導する「対岸眺望景観保全地域」をそれぞれ指定する。



④ 景観づくりの基本方策の新設

景観づくりを推進していくため、関係者間の役割や行動計画、市が行う推進方策の内容について示す。



④ 自己評価

景観計画の改定により、歴まち計画の3つの重点区域を「景観重点地区」に指定し、地区に応じた景観形成基準などを定めることで、歴まち計画と一体となった良好な景観の保全を図ることができた。また、一般建造物への修景整備に対する支援に合わせて、道路美装化を実施することにより、歴史的まちなみの保全・活用に寄与することができた。

⑤ 今後の対応

引き続き、まちなみ整備事業補助金による修景整備への支援を行うことで歴史的なまちなみの保全を図るとともに、景観計画に基づく取組を実施し、良好な景観形成を推進していく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
方針	Ⅲ伝統的な祭礼行事、活動	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】伝統的な祭礼行事や活動は、担い手不足や祭礼行事で使用する用具などの維持管理に要する経費負担、材料不足などの理由から困難になっていることが課題である。また、商店街の小売店舗数や販売額の減少など中心市街地の衰退も課題である。
 【方針】祭礼行事の各関係団体等と連携して、地域の子供や外部の人が参加できる仕組みを構築し、担い手の育成を図る。また、祭礼行事に必要な物品の確保や修理などの支援を行い、保護を図る。さらに商業活動については、担い手の育成による継承、中心市街地の活性化を図る。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	文化観光振興などへの助成	R3からR7で32件補助を実施	あり	H9～R12
2	祭行事の開催費用の補助	大津三大祭への事業補助	あり	R3～R12
3	歴史的観光資源を活用した事業への補助	R7までで28件補助	あり	H26～R12

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

■文化観光振興などへの補助

「大津市文化財保護条例」などに基づく有形・無形民俗文化財保存修理事業補助により、大津祭の曳山等の保存修理に対し補助金を交付することで、観光振興に寄与する歴史的観光資産の継承が図られた。



R7年度補助
大津祭曳山車輪修理

■祭行事の開催費用の補助

「大津三大祭事業補助」により、山王祭、大津祭、船幸祭の開催に要する経費に対し補助金を交付することで、歴史的観光資源の継承が図られた。

■歴史的観光資源を活用した事業への補助

「大津市歴史的観光資源活用事業補助」により、まちあるきやPR事業など、市内に点在する歴史的観光資源を活用した事業に対し補助金を交付することで、歴史文化に触れる機会を創出した。



R7年度補助
「大津のうなぎ」パンフレット

④ 自己評価

伝統的な祭礼行事の開催に対する支援や、関係する文化財保存修理への支援の実施により、その保護を図ることができた。

一方で、中心市街地の商業活動に関しては、後継者の育成による継承は十分に進んでいない状況である。

また、大津市歴史的観光資源活用事業補助については、自己負担分の確保が困難であるとの理由から、利用率の低下がみられる。

⑤ 今後の対応

引き続き、有形・無形民俗文化財保存修理事業補助により、伝統的な祭礼行事や活動に必要な物品の確保や修理などの支援を行い保護を図る。また、大津市歴史的観光資源活用事業補助金については、その必要性や有効性を判断し、より効果的な支援となるよう見直しを検討するとともに、その活用を通じて中心市街地の商業活動を支援し、後継者の育成に繋げていく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
方針	IV 歴史や伝統文化に対する市民意識	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】歴史的資源が豊富な都市であるにも関わらず、市民に本市の歴史や文化財などの価値やその希少性が十分に周知されていない。地域の歴史を知り、学べる機会が不足している。
 【方針】小中学生を対象とした副読本や文化遺産マップの作成、れきはく講座などの歴史文化に関するイベントの開催などにより、本市の歴史的資源について周知し、市民意識の向上を図る。本市の文化財、歴史的資源等について、歴史文化基本構想などと連携し、調査研究を行い、その結果の記録化、公開やデータベースの構築を図る。また、それらを担う人材の育成にも取り組む。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	地域の歴史資料館の運営の補助	2施設の運営補助や支援	あり	R3～R12
2	地域固有の歴史・文化遺産の発信	文化遺産マップなどの増刷 11件	あり	R3～R12
3	東海道統一案内看板の普及啓発	大津市内設置22基、チャレンジ隊作成9基	あり	H29～R12
4	地域の人材活躍の支援	勉強会3回、フォーラム1回、動画60本作成ほか	あり	R3～R12
5	大津まちなか大学の開催	大津祭学部、歴まちガイド育成学部開講	あり	R3～R12
6	大津人実践講座の開催	H28から毎年開催	あり	H28～R12
7	埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催	R3からR7で60件実施	あり	R3～R12
8	歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施	R3からR7で48件実施	あり	R3～R12
9	歴史博物館での資料の調査や収集	調査成果報告書・研究紀要等を発行	あり	R3～R12
10	れきはく講座などの開催	H28から毎年開催	あり	R3～R12

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

■ 地域の人材活躍の支援

歴史的風致の魅力をもつ動画を90秒で学べる動画を60本制作し、特設サイト及び市のYouTubeチャンネルで公開するとともに、イベントや教育の場で活用いただき、地域の歴史を学ぶ機会を提供した。



R7年度実施
「大津の茶の湯一遺跡出土の茶陶一」

■ 地域固有の歴史・文化遺産の発信

地域の団体等が作成した歴史・文化を紹介するマップ等を増刷し、地域学習などで活用いただくことで、地域で大切にされている固有の歴史文化の掘り起こしと情報発信を行うことができた。

■ 埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催

発掘調査の成果の展示や埋蔵文化財に関連する講座を実施しており、令和7年度は大津の茶の湯の企画展など、企画や講座等10件実施したことで地域住民の歴史文化に対する意識向上が図られた。



R7年度実施
歴史博物館企画展
「れきはくの大津絵」

■ 歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施

大河ドラマに関連する内容や未指定文化財調査の成果にかかる展覧会を開催し、大津の歴史文化や文化財に関する市民意識をより一層高めることができた。

④ 自己評価

歴史博物館での展示や埋蔵文化財調査成果の展示会を通して、本市の歴史や文化財などの価値やその希少性を周知することができた。また、歴まち動画やさまざまな講座により、地域の歴史を学ぶ機会を創出することができた。

⑤ 今後の対応

引き続き、歴まち動画の活用や、埋蔵文化財調査成果の展示をはじめとするさまざまな歴史の勉強会や講座を開催を通じて、幅広い世代の方々に地域の歴史を学ぶ機会を提供していく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
方針	V 歴史を活かした地域活性化や観光振興	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

【課題】本市に広く分布する歴史的資源や観光施設同士を結ぶネットワークが弱く、それらを案内する案内板などの情報発信が不足している。また、歴史的まちなみが広がる地区には歩行者空間が十分に確保されていないところがある。

【方針】各施設の連携によるネットワークづくりとあわせて多言語対応の観光マップや案内板の設置を行う。歴史的資源の周辺道路においては、安心安全な歩行者空間を整備することにより、観光振興や生活環境等の保全を両立させた地域の活性化に取り組む。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	観光施設の維持管理	堅田観光駐車場の維持管理	あり	R3～R12
2	公共空間の活用	市道幹1037号線における歩行者空間の整備やイベントの開催(利用団体約30団体)	あり	R3～R12
3	道路の拡幅整備(都市計画道路比叡辻日吉線)	都市計画道路3・4・46号比叡辻日吉線の拡幅とそれに伴う無電柱化、修景整備	あり	H25～R9
4	道路の拡幅整備(都市計画道路本堅田衣川線)	都市計画道路3・5・101号本堅田衣川線の拡幅とそれに伴う修景整備	あり	H29～R12

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

■ 観光施設の維持管理

堅田重点区域への主な動線上にある堅田観光駐車場(東洋紡前、湖族の郷資料館前)の維持管理を実施しており、駅から距離のある地域にも来訪いただける手段を創出している。

■ 公共空間の活用

市道幹1037号線において、JR大津駅から湖岸やまちなかへの動線づくりとにぎわい創出に向け、キッチンカーの出店やマルシェ、音楽ライブ、ビアガーデンなどを実施した。令和7年度においては、延べ83日間、25団体が催しを実施され、官民連携による大津駅前広場をはじめとした公共空間の日常的な利活用を促進する取組を進めることができた。

■ 道路の拡幅整備

主要幹線道路から堅田重点区域への主な動線となる「都市計画道路3・5・101号本堅田衣川線」や、山王祭の主要ルートでありJRや京阪電車の駅から坂本区域への主要な動線となる「都市計画道路3・4・46号比叡辻日吉線」の拡幅整備を進めている。



R7年度実施例
公共空間の活用催事



拡幅工事
実施中(堅田)



④ 自己評価

道路拡幅事業については、現在整備途中であるものの、整備が進んだ区域では、歩行者空間や視界の改善が図られており、安全性の向上とともに、歴史的資源をとりまく景観の保全にも寄与している。また、公共空間の利活用ではさまざまな事業を官民連携で実施することで、中心市街地の賑わいを創出することができた。一方で、その賑わいを本市に広く分布する歴史的資源や観光施設に結びつけていくことが必要である。

⑤ 今後の対応

今後も公共空間の日常的な利活用を促進するとともに、にぎわいを歴史的資源や観光施設に繋げる取組として、観光マップや案内板の設置と多言語化を検討していく。

また、道路の拡幅整備により歩行者が安全に通行できる歩行者空間を確保することで、歴史的資源の周辺環境の向上を図る。

市町村名	大津市	評価対象年度	R6～R7年
効果	i 地域と大学との連携の促進		

① 効果の概要

エリア部会の活動を通じて、地域と大学との連携が進んだ。

② 関連する取り組み・計画

	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度
1	大津市総合計画	あり	H29～R10

③ 効果発現の経緯と成果

本市の3つの重点区域では、地域主体で歴史文化に関する活動を行う団体として「エリア部会」がそれぞれ設立され、本市支援のもと、地域の特色を活かした事業を実施されている。

その活動の中で、若者の力を求める地域と実践の機会を必要とする大学との連携が進んだ。

■大津百町エリア部会（R5年8月設立）

立命館大学の学生が大津百町地域の課題を発見し、その課題解決に対する提案を発表するまちづくり演習において、大津百町地域を知っていただくためのまち歩きの実施や、学生提案発表の場でコメンテーターとして参加し、コメントされた。

■坂本エリア部会（R7年3月設立）

成安造形大学の「近江学」の講義において、坂本地域における歴史まちづくりの可能性について学生による提案発表が行われた際に、坂本エリア部会の委員がコメンテーターとして出席し、地域の状況についてフィードバックされた。

また、京都芸術大学大学院の学生による地域学習にも協力され、大学と坂本地域の連携が促進された。

■堅田エリア部会（R7年3月設立）

伝統的な祭りの継承のための事業である「献饌供御人行列」の体験に成安造形大学の学生が参加され、地域が発展した歴史と祭りの魅力の情報発信に繋がった。



大津百町エリア部会 まち歩きの様子



坂本エリア部会 学生による提案発表

④ 自己評価

学生によるまちづくりの提案発表にエリア部会がコメンテーターとして参加したことで、学生の斬新なアイデアや発想を知ることができ、今後の活動に活かせる有益な機会となった。

また、学生に地域の歴史や伝統、文化、自然環境、さらには住民の思いに触れる機会を提供することができ、歴史的風致の周知にも寄与することができた。

⑤ 今後の対応

今後は、大学による提案発表への参加にとどまらず、エリア部会の活動を学生と協力して行うことも検討されている。本市としても、充実した連携が行えるよう情報共有を行いながら活動を支援していく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
取り組み	A歴史的風致形成建造物への指定と保存のための整備	種別	歴史的風致維持向上施設

① 取り組み概要

■歴史的風致形成建造物の指定及び修理への補助

令和3年度に坂本区域の山門公人屋敷である旧岡本家住宅（本市所有）を歴史的風致形成建造物の第1号に指定し、令和4年度に国の「街なみ環境整備事業」を活用し、修繕・保全整備を行った。

また、令和6年度には大津百町区域の民間の建造物3件を新たに指定するとともに、歴史的風致形成建造物の保存の支援として修理に係る補助制度を創設し、2件の修理を実施した。

令和7年度も同様に、大津百町区域の民間の建造物3件を新たに指定し、3件の修理を実施した。



【旧岡本家住宅】
・令和3年度指定
・令和4年度修理



【北川家住宅】
・令和6年度指定
・令和6年度修理補助活用

【補助制度概要】

歴史的風致形成建造物の修理に要する経費に対する補助

補助率：事業費の3分の2 上限：600万円

実施年度	R3	R4	R5	R6	R7	合計
歴史的風致形成建造物指定件数	1件			3件	3件	7件
修理補助件数				2件	3件	5件

② 自己評価

歴史的建造物の維持・保全には多大な費用がかかるという課題があるが、補助制度の創設により、歴史的風致形成建造物の指定とあわせて保存に必要な支援を充実させることができた。

令和3年度に指定した旧岡本家住宅は、坂本地区の公人屋敷の中で唯一その原型をとどめる、非常に価値の高い住宅である。また、令和6年度および7年度に指定した大津百町区域の6件の建造物は、大津祭の曳山で披露されるからくりやお囃子の様子がよく見えるよう、2階に大きな窓等が設置されるなど、大津百町区域の町家の特徴を備えた住宅である。

これらの建造物の保全を進めることにより、重点区域の歴史的風致の維持・向上に大きく寄与することができた。

外部有識者名

成安造形大学 副学長 加藤賢治

外部評価実施日

令和7年11月21日

③ 有識者コメント

歴史的風致の維持向上については、まず、ハード面において、建造物の保存が最も大切なことである。重点区域にある古い建造物を、財政面で難しいことも理解できるが、可能な限り取り組みを強化しなければならないと考える。坂本地区では、道路の拡張によって、逆に古い建造物が一部取り壊されてしまったのは残念である。この点については、今後、どのように歴史的な街並みの風情を残すかを十分に検討しなければ、道路拡張の意義を問われるように感じる。

大津百町の街並みについては、現在マンションの建設がところどころで進んでおり、歴史的街並みをどう残すかと言う難しい課題を抱えている。しかし、この重点区域だけでも貴重な町家については、まず現状を把握し、少しずつでも計画的に修繕を行う現在の取り組みは評価できると考える。

④ 今後の対応

歴史的なまちなみを維持向上できるよう、歴史的建造物の現状把握に努め、所有者の理解を得ながら歴史的風致形成建造物の指定を進めるとともに、保全に対する修理費用の支援を推進していく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
取り組み	B 地域の人材活躍の支援	種別	その他
<p>① 取り組み概要</p> <p>■歴まち動画「大津歴まち90秒大学」制作 歴史的風致の魅力を90秒で学べる動画を60本制作し、特設サイト及び市のYouTubeチャンネルで公開 【動画再生回数】21,640回（R7.10月末時点） ※R5年度からの累計 【活用実績】20歳（はたち）のつどい、ジャパンハウス・ロンドン、関西万博などでの上映及び観光事業や小学校の学習などでの利用</p> <p>■エリア部会への支援 3重点区域で、歴史文化に関する活動を地域主体で行う「エリア部会」がそれぞれ設立され、本市支援のもと、地域の個性ある事業を実施された。 【支援の内容】事業費として各部会に負担金100万円/年度を交付 【活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大津百町エリア部会（R5年8月設立） 町家の悉皆調査、町家活用イベント、ガイド育成講座、大学と連携したまち歩き講座の実施や地域の歴史資源マップの作成など ○坂本エリア部会（R7年3月設立） 地域の神輿文化を伝えるイベントや体験事業、大学と連携した地域学習の実施や地域の歴史資源マップの作成など ○堅田エリア部会（R7年3月設立） 地域の伝統的な祭体験事業、湖上からの歴史的建造物探訪事業の実施や地域歴史文化紹介看板・動画制作など 			
			歴まちガイド育成講座 （大津百町エリア部会）
			坂本神輿まつり （坂本エリア部会）
			堅田沖湖上遊覧 （堅田エリア部会）
<p>② 自己評価</p> <p>歴まち動画は市内全域の歴史的風致を対象としており、幅広い地域や年齢層の方々に歴史文化を学ぶ機会を提供することで、次世代の人材育成に寄与することができた。 また、3つの重点区域で設立されたエリア部会は、地域の方々によって運営されていることから、地元の視点で地域の歴史文化の魅力発信や伝統継承のための体験事業などを実施されている点の特徴であり、重点区域の個性あるまちづくりに寄与している。さらに、大学との連携を通じて外部の若者の視点や力を取り入れた活動や将来的に地域で活躍する人材の育成にも貢献しており、本市の歴まち計画の実施において重要な役割を果たしている。</p>			
外部有識者名	成安造形大学 副学長 加藤賢治		
外部評価実施日	令和7年11月21日		
<p>③ 有識者コメント</p> <p>歴まち90秒大学の取り組みは、非常に良いと評価している。本学の学生の中には、調べたいと思うことは、まずネットからリサーチするため、たとえば「大津祭」、「日吉大社」、「浮御堂」などを動画で紹介と検索すると、必ず90秒大学の動画にヒットする。字幕のふりがなも良いし、ナレーションもはっきりしてわかりやすく、まずはそこが入り口となる良い動画に編集されている。今後、動画制作は続けながら、この動画のアーカイブをどのように活用するかを検討していかなければならないと思う。また、近年は、地元のまつりの衰退が顕著で、どのように地域に暮らす人々に、その価値を理解してもらい、積極的に参加してもらうのか。まずは人材を育成することが大切で、地蔵盆などの伝統的なまつりに現代にも通じる楽しさを導入しながら、人々を巻き込んだ楽しい行事にならないかと思っている。</p>			
<p>④ 今後の対応</p> <p>「大津歴まち90秒大学」によって多くの方々に歴史的風致を認識していただけるよう、周知方法を検討しながら活用を進めていく。また、エリア部会の活動を支援することで、地域の歴史文化を広く周知するとともに、地域の活性化を図り、地域文化を継承できる人材育成につなげていく。</p>			

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
歴史的風致	1 近江八景と琵琶湖を愛する活動に見る歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	IV 歴史や伝統文化に対する市民意識		

① 歴史的風致の概要

近江八景に選ばれた景勝地は、伝統的な祭礼行事を行う社寺として今でも地域の人々が訪れる場所でもあり、社寺周辺には今も歴史的なまちなみが残されている。まちなみのなかに和歌を唱える声、鐘の音、太鼓の音が響く情景は、景色の美しさだけでなく、人々の厚い信仰を表すような歴史的風致を形成している。また、湖岸の散策、釣り、船によるクルーズなど、住民は琵琶湖を娯楽の舞台としており、びわ湖開きのパレードを見ることで琵琶湖を楽しむ季節になったことを感じることから、歴史的な建造物が今も残る琵琶湖岸の沖合を船団がパレードする情景は、今も変わらない琵琶湖への市民の愛を感じさせる歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

■ 歴史や伝統文化に対する市民意識

歴史的風致の魅力を発信する動画「大津歴まち90秒大学」において「近江八景と琵琶湖」、「近江八景『三井の晩鐘』」、「みたらし祭」、「琵琶湖を美しくする運動」をテーマにした動画を制作し、イベントや教育の場で活用いただき広く周知することで、近江八景や琵琶湖に対する市民意識の向上が図られた。



大津歴まち90秒大学「近江八景と琵琶湖」



大津歴まち90秒大学「三井の晩鐘」



大津歴まち90秒大学「みたらし祭」



大津歴まち90秒大学「琵琶湖を美しくする運動」

③ 自己評価

近江八景や琵琶湖に係る人々の活動を紹介する動画を制作し、イベントや学校教育の場で活用いただくことで、市民や観光客などへの周知を図るとともに、次世代の地域住民への歴史文化の継承に繋げることができた。

④ 今後の対応

引き続き、動画の周知を行い、さまざまなイベントや学校教育の場で活用いただくことで、歴史や伝統文化に対する市民意識の向上を図っていく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
歴史的風致	2 自然との共生に見る歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	Ⅲ 伝統的な祭礼行事、活動 Ⅳ 歴史や伝統文化に対する市民意識		

① 歴史的風致の概要

比良・比叡山の山麓は、人々の暮らす里、背後の山、前面の琵琶湖が非常に近く、人々は石を活用するなどの創意工夫により、自然災害に備え、急峻な地形を拓いて棚田を形成し、農業を営む環境を構築していった。

石で作られた水路や棚田が広がる集落の中でこれらの自然災害へ対応する様々な知恵と自然環境や恵みを生かした生業が営まれている情景は、人々の自然との共生のなかで生まれた貴重な歴史的風致である。

② 維持向上の経緯と成果

■ 伝統的な祭礼行事、活動

「大津市歴史的観光資源活用事業補助」により、比良比叡トレイル「ルート地図」制作事業の補助を行い、山麓を歩くことで自然や歴史文化に触れる機会を創出した。

■ 歴史や伝統文化に対する市民意識

「地域固有の歴史・文化発信事業」により、地域で活動する団体が地域住民や来訪者向けに、地域固有の歴史、文化を発信するためのツールとして作成したマップ等の増刷事業を行い、地域学習やまちあるきなどで活用いただいたことで歴史文化に対する市民意識の向上が図られた。

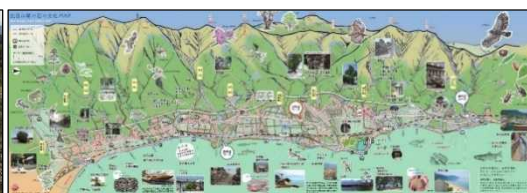
また、歴史的風致の魅力を発信する動画「大津歴まち90秒大学」を制作し、イベントや教育の場で活用いただき広く周知することで、比良・比叡山の自然や歴史に対する市民意識の向上が図られた。



比良比叡トレイル「ルート地図」



大津歴まち90秒大学「百間堤」



R6年度増刷 NPO法人 比良の里人 『比良山麓の石の文化MAP』

③ 自己評価

本市の石のまちなみと里山景観に係る歴史・文化の紹介や、その自然等に触れる機会を創出する事業へ支援することにより、市民や観光客などに比良・比叡山の自然や歴史を広く周知し、歴史的風致の認識の向上に繋げることができた。

④ 今後の対応

今後も地域のマップや「大津歴まち90秒大学」の動画を活用しながら地域固有の歴史・文化を発信し、自然との共生に見る歴史的風致の魅力を広く周知していく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
歴史的風致	3 琵琶湖とともに生きる町堅田に見る歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	II 歴史的建造物の周辺環境 IV 歴史や伝統文化に対する市民意識 V 歴史を活かした地域活性化や観光振興		

① 歴史的風致の概要

堅田は琵琶湖の最狭部にあり、琵琶湖の水運、漁業、造船業で繁栄し、琵琶湖を借景とした居初氏庭園、浮御堂や出島の灯台のほかにも、つし2階や虫籠窓といった伝統的な様式を持つ町家が建ち並ぶまちなみが今も残されている。

そのようなまちなみのなかで湖魚料理の販売や、下鴨神社の御厨となったことで勧請された神社の祭礼など琵琶湖と関わりがある祭礼が行われている情景は、堅田が琵琶湖と深く結びついた地であることを今も感じさせる歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

■ 歴史的建造物の周辺環境

景観協定区域を対象として、当該景観協定の趣旨を踏まえた建造物の外観の整備を行う者（2件）に対して補助を行ったことにより、歴史的まちなみと調和した良好な景観が保全された。

市道幹1016号線について、美装化を行い、歴史的まちなみと調和した修景舗装を行ったことで、良好な景観が保全された。



R5年度
修景補助実施



■ 歴史や伝統文化に対する市民意識

堅田の歴史について展示している「湖族の郷資料館」の運営補助を行うことで、堅田の歴史文化の継承を図られた。

また、堅田エリア部会の活動で地域の伝統的な祭りである「献饌供御人行列」の体験や「野神祭」の太鼓体験などを通じて、地域の伝統的な祭りの継承と人材育成が図られるとともに、歴史的建造物探訪事業や地域の歴史文化を紹介する看板の制作などにより、地域の歴史文化の魅力発信が行われた。

■ 歴史を活かした地域活性化や観光振興

堅田重点区域への主な動線上にある堅田観光駐車場（東洋紡前、湖族の郷資料館前）の維持管理を行い、駅から距離のある地域にも来訪いただける手段を創出している。また、主要幹線道路から堅田重点区域への主な動線となる都市計画道路3・5・101号本堅田衣川線の拡幅整備を進めている。



湖族の郷資料館展示

③ 自己評価

エリア部会の活動により、歴史文化の魅力を発信するとともに、堅田地域の歴史文化の継承と人材育成につなげることができた。また、景観協定に基づく建造物の外観修景整備に対する補助やまちなみに調和した道路美装化を実施することで、歴史的まちなみが保全され、堅田地域の歴史的風致の維持向上に寄与することができた。

④ 今後の対応

引き続き、エリア部会の活動支援を行うことで堅田地域の歴史文化の魅力発信や伝統文化の継承を図っていく。また、景観協定に基づく建造物の外観修景整備に対する補助及び本堅田衣川線の拡幅整備を行うことで、堅田の歴史的まちなみの保全を推進する。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
歴史的風致	4 港町・宿場町大津に見る歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 IV 歴史や伝統文化に対する市民意識		

① 歴史的風致の概要

琵琶湖の水運と東海道、北国海道（西近江路）が交差する交通の要衝であり、港町、宿場町として大きく繁栄した「大津百町」地域には、今も戦前までに建てられた町家が残し、老舗の商店が営業している。地域住民の厚い信仰を受けてきた神社の祭礼も行われており、往時の趣を感じさせている。また、宿場町近傍の名所として知られた社寺では、今でも地域住民によって祭礼行事が盛大に行われており、東海道最大の宿場町として知られた大津の繁栄ぶりを現代でも感じることができる歴史的風致が広がっている。

② 維持向上の経緯と成果

■ 歴史的建造物の保全と活用

大津市宿場町構想実行委員会により、令和4年度に町家普及イベントである「3月8日は町家の日in大津」に取り組み、令和5年度からは大津百町エリア部会により実施されている。令和6年度は大津百町エリアの各町家が趣向を凝らして企画した物販、体験、見学など、26の企画を実施された。市外からの来訪者もあり、広く町家の魅力を発信できた。



3月8日は町家の日in大津2025パンフレット

■ 歴史や伝統文化に対する市民意識

東海道であることを地域住民や来訪者にわかりやすく伝えるため、草津市役所と連携し、「東海道統一案内看板ロゴマーク」が描かれた看板を製作し、令和7年度時点で46基設置した。看板製作時は子どもを対象として色塗り体験を実施しており、本市と草津市で共有する素晴らしい景観を体感してもらう機会を創出した。

また、歴史ツアーなどで活用されている既存の歴史解説プレートのうち、経年劣化により読めない状態になっていたものを大津百町エリア部会の事業で再整備された。



東海道統一案内看板



札の辻



大津御用米会所



露国皇太子遭難地の碑

③ 自己評価

東海道の看板や歴史解説プレートを設置することで、宿場町や港町として発展した地域であることを広く周知することができた。また、古くから残る町家を利活用するイベントを地域主体で実施することで、市民や観光客などにその魅力に触れる機会を提供し、地域住民の歴史的風致の保全に関する意識の向上にも繋げることができた。



色塗り体験の様子

④ 今後の対応

今後も町家を活用したイベントや東海道統一案内看板等の設置を通して、宿場町や港町として発展した地域の歴史や魅力を広く周知していく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
歴史的風致	5 水城膳所城の城下町に見る歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	IV 歴史や伝統文化に対する市民意識		

① 歴史的風致の概要

膳所城は琵琶湖の湖岸に築かれた美しい水城で、城跡は市民の憩いの場となり、社寺や武家屋敷、町家などで構成される歴史的なまちなみが残っており、城下町の姿を今も保っている。そのようなまちなみのなかで、祭礼行事が今も地域住民によって執り行われており、各神社の境内や城下町のまちなみのなかを、5つの神社の氏子たちによる神輿や子供神輿が渡御する情景は、城下町の活気を今も感じさせる歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

■ 歴史や伝統文化に対する市民意識

令和5年2月24日に古都指定20周年、大津草津連携10周年記念事業として、「大津歴史まちづくりフォーラム～東海道と大津宿の歴史を生かしたまちづくり～」を開催し、地域での観光ボランティアガイドや歴史に関する研究、発表を行っている個人や団体間の交流を促し、歴史に関する知見を深めることで、市民意識の向上が図られた。

また、歴史的風致の魅力を発信する動画「大津歴まち90秒大学」で膳所城跡公園や膳所総祭を紹介する動画を制作し、イベントや教育の場で活用いただき広く周知することで、膳所地域の歴史に対する市民意識の向上が図られた。



フォーラム開催時の様子



大津歴まち90秒大学「膳所総祭り」



大津歴まち90秒大学「膳所城跡公園」



③ 自己評価

膳所城跡公園や膳所総祭りを紹介する動画を制作し、活用を図るとともに、東海道と大津宿に係る地域住民の意識啓発を目的としたフォーラムを開催することで、水城膳所城の城下町に見る歴史的風致に触れる機会の増加に繋げることができた。

④ 今後の対応

今後も膳所城跡公園や膳所総祭りを紹介する動画を活用しながら、水城膳所城の城下町に見る歴史的風致の魅力を広く周知していく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
歴史的風致	6 近江大津宮、近江神宮とその周辺の神社に見る歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	Ⅲ 伝統的な祭礼行事、活動 Ⅳ 歴史や伝統文化に対する市民意識		

① 歴史的風致の概要

近江神宮は近江大津宮に遷都した天智天皇を祀る神社として、昭和15年（1940）に造営後、地域住民の奉仕による近江まつりが盛大に行われるようになった。住民は周辺の宇佐八幡神社、志賀八幡神社の例祭にも奉仕しており、複数の神社の例祭に奉仕することになったが、現在もなお、それぞれの神社の例祭は盛大に行われており、昔ながらの集落の趣を感じさせる歴史的なまちなみが残る地域のなかで、「違う季節」に、「違う神社の例祭」が行われるという独特の歴史的風致が形成されている。

② 維持向上の経緯と成果

■ 伝統的な祭礼行事、活動

「大津市歴史的観光資源活用事業補助」により、「かるたの聖地・大津」ブランディング事業の補助を行い、漫画「ちはやふる」とのコラボなどにより歴史文化に触れる機会を創出した。



「かるたの聖地・大津」
ブランディング事業の様子

■ 歴史や伝統文化に対する市民意識

大津人実践講座を開催しており、受講者は毎年15～25名ほどである。大学や地域との連携を強化したプログラムにより、大学生や地域との協働による学習が展開している。フィールドワークやグループディスカッションを通して大津の歴史に関する知見を深めることで、市民意識の向上が図られた。



大津人実践講座の様子



③ 自己評価

「かるたの聖地・大津」としてのブランディング事業として民放ドラマとの連携を実施し、そのブランド力の向上を図ったことや歴史文化を学ぶ講座の実施したことにより、近江大津宮や近江神宮、その周辺の神社の歴史文化に触れる機会を創出し、歴史的風致の認識の向上に繋げることができた。

④ 今後の対応

引き続き、ブランディング事業への支援や、歴史文化を学ぶ講座を実施することで、近江大津宮や近江神宮、その周辺の神社の歴史文化に触れる機会を提供していく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
歴史的風致	7 比叡山とその山麓に見る歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 III 伝統的な祭礼行事、活動 IV 歴史や伝統文化に対する市民意識		

① 歴史的風致の概要

比叡山の山上に広がる延暦寺の境内には多くの歴史的建造物が分布しており、また、里坊の庭園や穴太衆積みの石垣が今も残る比叡山の山麓のエリアには、延暦寺と関わり深い社寺が多くみられる。延暦寺は、僧による法会と修行のための山であるが、法会などの実施は地域の人々に支えられており、今も地域住民が法会の準備などに勤しむ姿や、地蔵盆など古くからの行事、まちなみの特徴である石垣の維持管理を行う姿を見ることができる。里坊などの歴史的建造物や昔ながらの趣を感じさせる建造物が立ち並ぶまちなみのなかで、そのような活動が行われている情景は、延暦寺の門前町であることを感じさせる歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

■歴史的建造物の保全と活用

市内に所在する国・県・市指定文化財の修理及び管理に要する経費に対し補助金を交付しており、国宝延暦寺根本中堂及び重要文化財延暦寺根本中堂廻廊の保存修理などに対して補助を行うことで、歴史的建造物が保全された。

■伝統的な祭礼行事、活動

「大津市歴史的観光資源活用事業補助」により、坂本歴史街道のまちあるき事業の補助を行い、坂本のまちなかを歩くことで自然や歴史文化に触れる機会を創出した。

■歴史や伝統文化に対する市民意識

「地域固有の歴史・文化発信事業」により、坂本・下阪本地区の歴史文化を紹介するマップを増刷し、地域学習やまちあるきなどで活用いただいた。また、「大津歴まち90秒大学」で延暦寺に係る地域住民の活動を紹介する動画を制作し、イベントや教育の場で活用いただき広く周知することで、比叡山とその山麓の歴史に対する市民意識の向上が図られた。

さらに、坂本エリア部会の活動で地域の神輿文化を伝えるイベントや体験事業、大学と連携した地域学習が実施され、地域の伝統文化の継承とそれらを担う人材の育成が図られた。



「坂本歴史街道」ポスター



マップ増刷事業実施マップ
上：R5年度
下：R6年度

③ 自己評価

地域の歴史文化を紹介する動画やマップ等を制作・活用することにより、地域固有の歴史文化を学ぶ機会を創出するとともに、坂本エリア部会の活動を通じて伝統文化の継承とそれらを担う人材の育成を図ることができた。

また、延暦寺根本中堂及びその廻廊の保存修理などに対して補助を行うことで、歴史的建造物を保全し、比叡山とその山麓に見る歴史的風致の維持向上に寄与することができた。

一方、管理の行き届いていない名勝庭園や未使用の里坊などが見受けられ、現状把握が必要である。

④ 今後の対応

今後も坂本エリア部会の活動支援や歴史的観光資源を活かした事業に関する補助、地域固有の歴史・文化を紹介するマップ等や動画の活用を通して、地域の魅力を発信していく。

また、歴史的建造物については、保存修理補助により引き続き保全を推進するとともに、旧竹林院庭園の調査や庭園改修方針の策定、未使用の里坊の活用に向けた調査を行い、管理が行き届いていない名勝庭園や未使用の里坊の現状把握に努める。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
歴史的風致	8 三井寺を中心とする歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 II 歴史的建造物の周辺環境 IV 歴史や伝統文化に対する市民意識		

① 歴史的風致の概要

三井寺には、広大な境内に国宝4件を含む12件の重要文化財（建造物）が所在し、観音堂や長等神社へと続く参道などは門前町特有のまちなみが今も残る。三井寺は天台寺門宗総本山、また西国三十三所観音巡礼の札所として信仰を集め、現在も多くの参詣者が訪れている。

また、三井寺と関わりが深い神社では、地域の氏神として様々な行事が行われており、地域の人々によって、藁製の蛇がまちなかに飾られる様子や、神輿が渡御する情景は、三井寺の門前町として営まれてきた地域の人々の信仰の姿を今に感じさせるような歴史的風致を形成している。

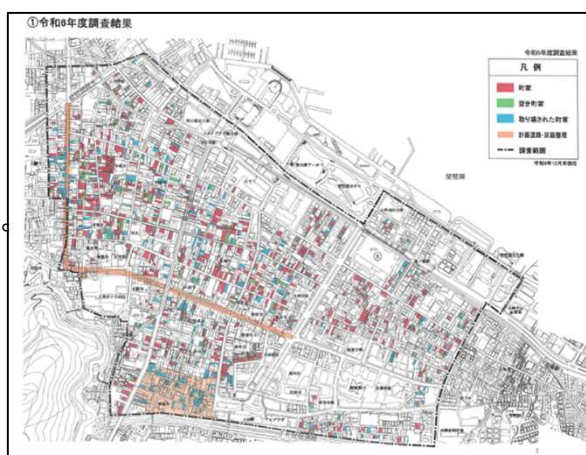
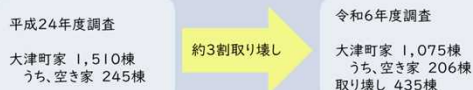
② 維持向上の経緯と成果

■ 歴史的建造物の保全と活用

町家の利活用を推進するために、令和6年度に三井寺の門前町である大津百町エリアの町家の悉皆調査を行った。平成24年度調査と比べて約3割の町家を取り壊されていることが分かり、これらの情報を今後の事業に繋げていく。

町家の悉皆調査

結果：



R6年度悉皆調査結果

■ 歴史的建造物の周辺環境

市道中2524号線、市道中3315号線の道路について、令和7年度から11年度にかけて美装化を行い、歴史的まちなみと調和した修景舗装を行う予定であり、良好な景観保全を進めている。

■ 歴史や伝統文化に対する市民意識

地域への関心を高め、地域を愛する心を育み、地域づくりに貢献する人（大津人）を育成する講座を開講している。令和6年度の「大津人基礎講座」では三井寺の歴史を題材として2回開催し、計154人が受講され、大津を愛する大津人の育成が進められた。

また、歴史的風致の魅力を発信する動画「大津歴まち90秒大学」で三井寺とその門前町に係る人々の営みを紹介する動画を制作し、イベントや教育の場で活用いただき広く周知することで、三井寺の歴史に対する市民意識の向上が図られた。



三井寺長史による大津人基礎講座

③ 自己評価

三井寺とその門前町に係る人々の営みを紹介する動画を制作し、活用するとともに、歴史文化を学ぶ講座を実施したことにより、市民や観光客などに三井寺を中心とする歴史的風致を広く周知することができた。また、地域主体で町家の悉皆調査を実施したことにより、歴史的まちなみを保全する意識の向上に繋げることができた。

④ 今後の対応

引き続き、町家の利活用に向けた事業の支援や歴史的まちなみと調和した道路の修景舗装を進めることで、三井寺を中心とする歴史的風致の向上を図っていく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
歴史的風致	9 石山寺を中心とする歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 III 伝統的な祭礼行事、活動 IV 歴史や伝統文化に対する市民意識		

① 歴史的風致の概要

西国三十三所観音巡礼の札所として全国の人々に信仰されてきた石山寺は、地域住民の信仰も厚く、千日会、仏名会といった法要や石山寺の高僧をしのぶ青鬼祭が盛大に行われている。近隣の神社では、今も氏子によって祭礼行事が行われているほか、神社の歴史から独自の祭礼が行われている。石山寺や神社周辺には歴史的なまちなみが残るほか、昔ながらの趣が残る家屋も立ち並んでおり、そのような地域のなかで石山寺や石山寺と関わりが深い神社の行事が地域住民によって行われている情景は、石山寺周辺の地域の人々の信仰の深さを今に感じさせる歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

■ 歴史的建造物の保全と活用

市内の未指定文化財について、所有者の承諾のもと、学識経験者などの指導を得ながら調査を実施している。令和4年度に石山寺宝性院など市内寺院の建造物を大津市文化財保護審議会委員とともに調査し、令和7年度には石山寺の宝性院4棟と法輪院4棟が市指定文化財となった。



石山寺宝性院調査風景

■ 伝統的な祭礼行事、活動

「大津市歴史的観光資源活用事業補助」により、石山寺文化財解説映像PR事業や石山寺夏祭り事業、石山寺と『源氏供養』PR事業などに対し補助を行い、石山寺の歴史文化のPRに繋がった。

■ 歴史や伝統文化に対する市民意識

地域への関心を高め、地域を愛する心を育み、地域づくりに貢献する人（大津人）を育成する講座を開講している。令和5年度の「大津人基礎講座」では源氏物語ゆかりの石山寺と紫式部を題材として2回開催し、計195人が受講され、大津を愛する大津人の育成が進められた。



石山寺座主による大津人基礎講座

③ 自己評価

令和6年の大河ドラマ「光る君へ」の放送と合わせて、石山寺の歴史や文化財、諸行事のPRや支援を行うことにより、観光客などに石山寺とその周辺の魅力を広く周知し、歴史的風致に触れる機会の増加に繋げることができた。また、歴史資源を活用した学習講座を通して、地域の歴史や伝統文化に対する市民意識の醸成を図ることができた。

④ 今後の対応

今後も石山寺周辺の歴史や文化に関する講座やイベント等を通じて地域の魅力を発信することで、石山寺を中心とする歴史的風致の維持向上を図っていく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
歴史的風致	10 山王祭に見る歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 II 歴史的建造物の周辺環境 III 伝統的な祭礼行事、活動 IV 歴史や伝統文化に対する市民意識 V 歴史を活かした地域活性化や観光振興		

① 歴史的風致の概要

比叡山の山麓に位置する日吉大社の例祭である山王祭は、大津三大祭の1つであり、湖国三大祭にも数えられ、暗闇のなか、松明の灯火を頼りに行われる宵宮落しや、7基の神輿が坂本のまちなみを渡御する姿は非常に壮大である。日吉大社がある地域だけでなく、市内のほかの地域でも、切り出された榎が町中に運ばれたり、供物の準備が行われたりするなど、山王祭の開催が近づいていることを人々に伝えている。穴太衆積みの石垣が残る坂本のまちなみのなかや、琵琶湖の湖上を7基の神輿が渡御する情景は、日吉大社の歴史と神格を現す、時に勇壮で、時に厳かな山王祭による歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

■歴史的建造物の保全と活用

延暦寺の里坊であった旧竹林院や公人屋敷(旧岡本家住宅主屋)など歴史的建造物を活用し、歴史文化の情報発信の拠点として活用している。公人屋敷は令和4年3月に歴史的風致形成建造物第1号として指定し、建造物の保全と活用を図っている。

■歴史的建造物の周辺環境

坂本地区景観形成実施計画の計画地区内の地区計画として定めた区域を対象として、当該地区計画の趣旨を踏まえた建造物の外観の整備を行う者(5件)に対して補助を行ったことにより、歴史的まちなみと調和した良好な景観が保全された。

■伝統的な祭礼行事、活動

「大津三大祭事業補助」の交付を通じて、山王祭の開催に必要な経費に対する支援を行うことで、観光振興に寄与する歴史的観光資源の継承が図られた。

■歴史や伝統文化に対する市民意識

旧竹林院や地域の文化祭で歴史的風致に関するパネル展を実施することで、歴史的風致の周知が進められた。

■歴史を活かした地域活性化や観光振興

山王祭の主要ルートであり、JRや京阪電車の駅から坂本区域への主要な動線となる都市計画道路3・4・46号比叡辻日吉線の拡幅を実施しており、整備を進めている。



歴史的風致形成建造物第1号
公人屋敷

③ 自己評価

山王祭の開催に要する経費の補助を行うとともに、山王祭の主要ルートの整備やその地区の建造物の外観整備を行うことで、山王祭に見る歴史的風致の維持向上に寄与することができた。

④ 今後の対応

引き続き、山王祭の主要ルートの道路整備やその地区の建造物の外観整備を行うことで、歴史的なまちなみの保全を推進していく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
歴史的風致	11 大津祭に見る歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 II 歴史的建造物の周辺環境 III 伝統的な祭礼行事、活動 IV 歴史や伝統文化に対する市民意識 V 歴史を活かした地域活性化や観光振興		

① 歴史的風致の概要

天孫神社の例祭である大津祭は、大津三大祭の1つであり、湖国三大祭にも数えられ、豪壮華麗な13基の曳山がコンチキチンの囃子を奏でながら巡行する姿は、京都の祇園祭に匹敵する壮大さである。10月に開催される曳山の巡行に向けて行われる、町家での囃子の稽古や山建てなどは、地域の住民だけでなく、この地域を訪れた人々にも祭りの開催が近いことを伝えている。本祭当日、歴史的な町家が残る東海道筋などのまちなみのなかを曳山が巡行する情景は、大津の町人たちの繁栄ぶりを表す歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

■歴史的建造物の保全と活用

歴史的風致形成建造物として令和6年度に3件、令和7年度にも3件指定した。うち5件の建造物は、令和6年度に創設した大津市歴史的風致形成建造物修理補助金を活用し、建造物の外観修理を実施され、歴史的建造物の保全が図られた。

■歴史的建造物の周辺環境

市道中2524号線、市道中3315号線の道路について、令和7年度から11年度にかけて美装化を行い、歴史的まちなみと調和した修景舗装を行う予定であり、良好な景観保全を進めている。

■伝統的な祭礼行事、活動

「大津三大祭事業補助」により、大津祭の開催に要する経費に対し補助金を交付している。また、曳山の保存修理に対する補助金も交付しており、それら祭りへの支援を行うことで観光振興に寄与する歴史的観光資産の継承が図られた。

■歴史や伝統文化に対する市民意識

まちづくりの中核を担う人材育成を目的に大津まちなか大学を開設している。特定非営利活動法人大津祭曳山連盟による「大津祭学部」では、修了生らで長柄衆が組織され、ガイドや運営面で協力されている。大津百町エリア部会による「歴まちガイド育成学部」では、修了生の一部がグループとなりガイドを実施されるなど、学部修了後も活躍され、歴史文化を継承する人材育成が進んでいる。

■歴史を活かした地域活性化や観光振興

市道幹1037号線において、JR大津駅から湖岸やまちなかへの動線づくりとにぎわい創出に向け、キッチンカーの出店やマルシェ、音楽ライブ、ビアガーデンなどが実施され、官民連携により大津駅前広場をはじめとした公共空間の日常的な利活用を促進する取組が進められた。

③ 自己評価

大津祭の開催経費の補助や、大津祭を学ぶ講座やガイド育成の講座を行うことにより、祭りを担う人材の育成や文化の継承に繋げることができた。

また、古くから曳山巡行を見物する場所としても活用されてきた町家を歴史的風致形成建造物として指定し、修理補助により保存を支援することで、歴史的なまちなみの保全に寄与することができた。



R6年度
歴史的風致
形成建造物
修理補助実施

④ 今後の対応

引き続き大津まちなか大学による大津祭の担い手やガイドの育成支援を行い、祭文化の継承を図る。また、大津祭の曳山に関連した特徴を持つ歴史的風致形成建造物の指定と修理の補助や周辺道路の歴史的まちなみと調和した修景舗装整備により歴史的なまちなみを保全し、大津祭に見る歴史的風致の維持向上を推進する。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
歴史的風致	12 船幸祭に見る歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	Ⅲ 伝統的な祭礼行事、活動 Ⅳ 歴史や伝統文化に対する市民意識		

① 歴史的風致の概要

近江国一宮の建部大社で行われる船幸祭は夕方から夜にかけて、神輿を載せた御座船が、瀬田川の兩岸に松明がたかれるなかを巡行する船渡御が行われ、また、船団が瀬田唐橋に着くころには花火も打ち上げられる。座、氏子と呼ばれる地域住民によって支えられ、瀬田川の夏を彩る祭礼である。

建部大社の神輿が建部大社周辺の歴史的建造物が残るまちなみのなかや瀬田川を渡御する情景は、東海道の要所であった瀬田唐橋のたもとであるという地理的条件と漁業によって発展したまちのにぎわいを今も感じさせる歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

■ 伝統的な祭礼行事、活動

「大津三大祭事業補助」の交付を通じて、船幸祭の開催に必要な経費に対する支援を行うことで、観光振興に寄与する歴史的観光資源の継承が図られた。

■ 歴史や伝統文化に対する市民意識

「地域固有の歴史・文化発信事業」により、地域で活動する団体が地域住民や来訪者向けに、地域固有の歴史、文化を発信するためのツールとして作成したマップ等の増刷事業を行い、地域学習やまちあるきなどで活用いただいたことで歴史文化に対する市民意識の向上が図られた。

歴史的風致の魅力を学べる動画「大津歴まち90秒大学」を制作し、イベントや教育の場で活用いただき広く周知することで、船幸祭に対する市民意識の向上が図られた。



R7船幸祭の様子



大津歴まち90秒大学「船幸祭 本祭」



瀬田南歴史文化研究会『瀬田南の碑』R4年度増刷

③ 自己評価

船幸祭の開催に要する経費の補助を行うとともに、船幸祭の本祭や本祭に向けた行事を紹介する動画を作成し、イベントや学校教育の場で活用いただくことで、市民や観光客などに船幸祭に見る歴史的風致を広く周知することができた。

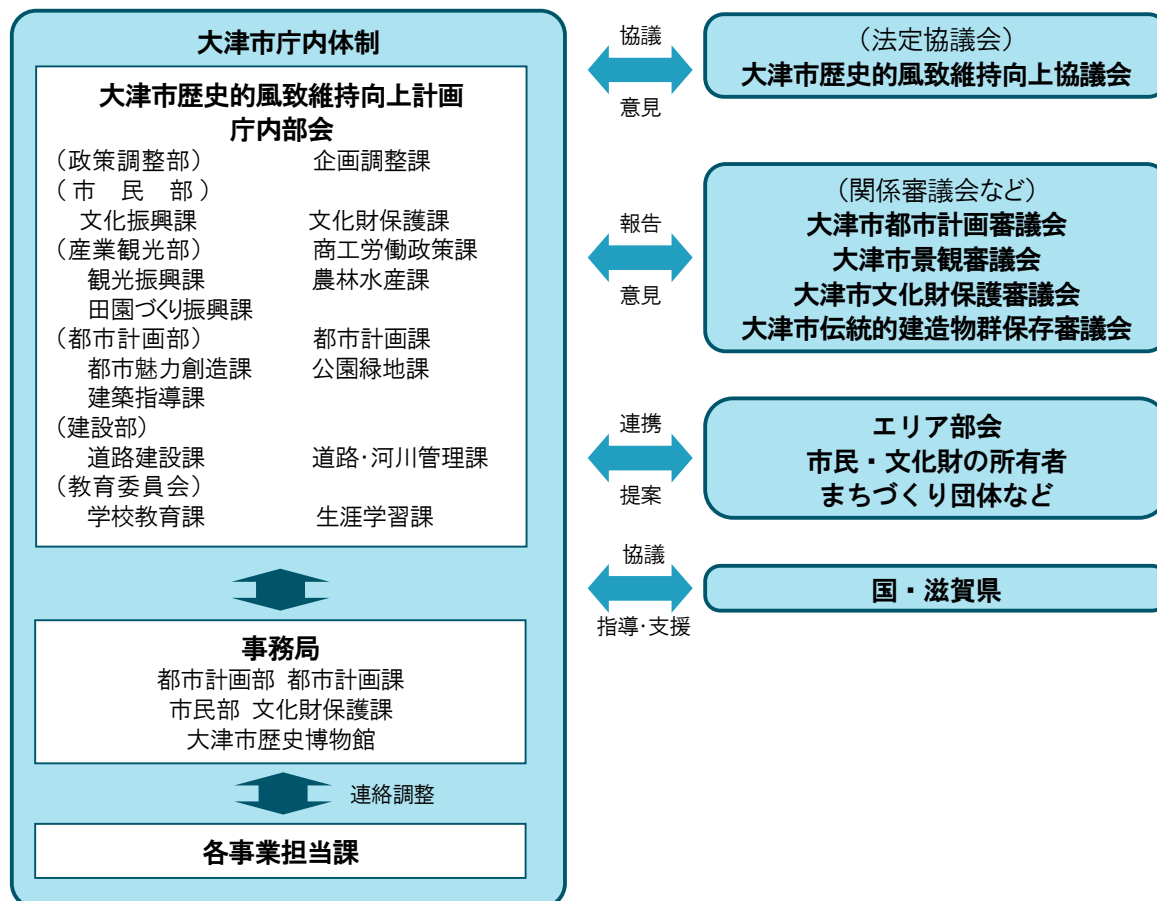
④ 今後の対応

今後も動画「大津歴まち90秒大学」や地域のマップ等を活用し、祭りや地域文化の魅力を発信していく。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
------	-----	--------	--------

① 庁内組織の体制・変化

計画の推進にあたっては、都市計画課と文化財保護課、歴史博物館が中心となり、関係各課と連携を図りながら事業を実施している。各事業の実施はそれぞれの所管課が行っているが、事務局と各所管課で情報共有を図りながら毎年事業の進捗を評価している。



② 庁内の意見・評価

計画の推進にかかる関係部局は多く、かつそこに結び付く関係団体との情報も速やかに共有される必要がある。部を越えた横断的組織体制になっているが、常に事務局を通じて情報共有が進んでいることから、意思疎通と連携が図りやすい体制となっている。ただ、年度当初の異動によって人員が入れ替わるため、計画における各課の位置づけなど、意識共有を細かくする必要があると感じる。

また令和7年度は、「坂本城跡」の国史跡への指定や、「大津祭の曳山行事」のユネスコ無形文化遺産への登録など、計画推進にかかる重要事項が多くあり、今後も各所属、あるいは協業による計画の推進のため、スピード感ある連携が求められる。

歴史的風致形成建造物の修理にかかる協議については、文化財となっている建造物もあることから、都市計画課だけでなく、必要に応じて文化財保護課も交えて補助対象者と協議しており、連携が図られている。補助金審査委員会に文化財や建築の専門職員も参加することで、多方面から審議する体制がとられている。

以上のことから、今後も引き続き計画推進に向けて連携のとれた庁内体制を維持するために、年度当初に計画における各課の位置づけや事業の進捗評価の時期等のスケジュールの連絡を行い、円滑に情報共有が図れるよう努める。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
------	-----	--------	--------

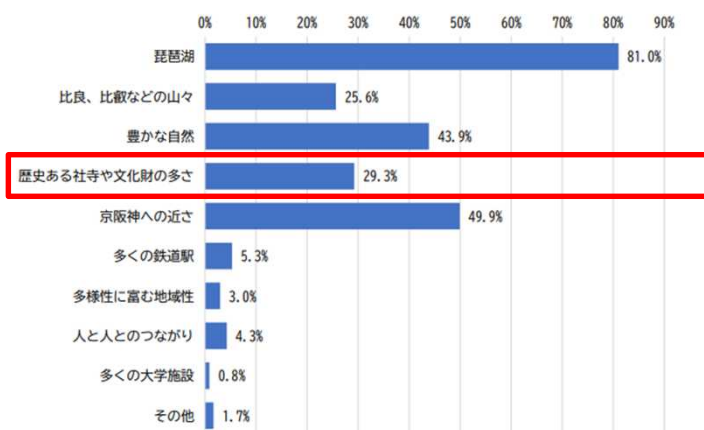
① 住民意見

令和5年度に実施した「大津市のまちづくりに関する意識調査」では、「大津市のまちの魅力だと思ふこと」に関する設問（複数回答）で「歴史ある社寺や文化財の多さ」は29.3%で、全体の4番目であった。

また、「大津市はまちの魅力を生内外の方へ発信できていると思うか」という設問（単一回答）では、「そう思う」「ややそう思う」の割合は全体の3割程度であった。一方、「そう思わない」「あまりそう思わない」の割合は全体の4割程度と、発信できていると思う人より多かった。

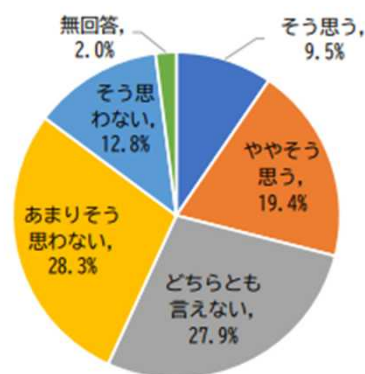
【大津市のまちの魅力だと思ふこと】

複数回答 [N=1,080]



【大津市はまちの魅力を生内外の方へ発信できていると思うか】

単一回答 [N=1,080]



※N=集計対象者数

② 協議会におけるコメント

中間評価については、適切であると認められた。

<特に評価すべき点>

- ・ソフト事業がとても充実しているというのが大津市の特徴ではないかと思う。エリア部会が3つの重点区域で全て立ち上がり、非常に充実した活動をされている。どちらかというハード事業に偏っている自治体が多い中で、非常に高く評価できる。

- ・歴史的風致形成建造物の指定を進めるにあたって修理補助制度を作られ、それが着実に動き始めているという点が評価できる。

- ・未指定文化財を着実に調査しながら指定に持っていく体制が非常に充実している。また、歴史博物館での展示や活動、さらには小学生への教育、啓蒙活動も含めて、文化財行政はかなり充実していて、それを歴まちと連動する形で展開されているのが非常によい。

<その他意見>

- ・評価指標として、イベントを実施したという成果だけでなく、人材をどう巻き込んで育成するかという効果の部分も入れてはどうか。些細な取組でも、地域を巻き込み、実は結構大きな影響がある取組になっているのではないか。

- ・インバウンドの対応として、多言語化を進める必要があると感じている。多言語化については、重点的に進める内容を定めて進めたほうが良いのではないか。

- ・道路拡幅によって古い建物が一部壊されるなど、現状を見たときに歴史的風致が向上したと市民が本当に思っているのか疑問がある。修景的な面での配慮ができる仕組みを作ることやその情報を地元住民とどう共有するかなどを検討すべきではないか。

市町村名	大津市	評価対象年度	R3～R7年
<p>① 全体の課題</p> <p>1. 歴史的建造物の保全 文化的価値が高い建造物や歴史的風致の維持に必要な歴史的建造物については、文化財や歴史的風致形成建造物の指定を行うとともに、修理に対する補助事業を創設し、保全の支援を行っているが、それでも社会環境の変化や、所有者の高齢化と後継者不足などの理由で解体されてしまう建造物もある。 また、生活環境の保全に伴う整備事業により、解体を余儀なくされる建造物もある。</p> <p>2. 伝統的な祭礼行事の担い手の育成 地域の関係団体と連携し、祭礼行事の魅力や伝統を学べる講座を実施するなど、担い手の育成を推進しているが、少子高齢化の進行や、人々のライフスタイルや価値観の変化などにより、担い手の確保が難しい状況である。</p> <p>3. 歴史的風致の普及・啓発のための情報発信 本市は歴史的資源が豊富な都市であり、歴史や文化財などの価値やその希少性について、さまざまな事業で周知を図ってきたが、未だ十分ではない。</p>			
<p>② 今後の対応</p> <p>1. 歴史的建造物の保全 引き続き、所有者の理解と協力を得ながら、文化財や歴史的風致形成建造物の指定を進め、修理に対する支援を行う。併せて、歴史的建造物の現状把握に努め、保全すべき建造物については、その価値や重要性、保存に係る支援制度を所有者に十分に説明し、保全への理解を促していく。 また、道路事業とも連携を図りながら、良好な景観形成につながるよう検討していく。</p> <p>2. 伝統的な祭礼行事の担い手の育成 地域の関係団体と連携しながら、担い手育成に向けた講座の実施や体験事業を行い、地域内外の多様な層に祭りの文化や魅力を広く周知するとともに、祭りに参加する機会を創出することで、祭行事の継承や担い手の育成につなげていく。 また、各種事業の評価においては、イベント参加者数のみならず、事業の企画・運営に携わる地域住民の参加者数や活動を通じた地域の変化にも注目し、多角的な視点から総合的な評価を検討し、今後の担い手の育成推進に向けた取組に活かしていく。</p> <p>3. 歴史的風致の普及・啓発のための情報発信 引き続き、歴史博物館での展示や埋蔵文化財調査成果の展示会、歴史博物館の講座などを通して、本市の歴史や文化財などの価値や希少性を広く周知するとともに、マップ増刷事業により掘り起こした地域固有の歴史文化の情報発信にも注力し、地域の魅力の再認識につなげていく。 また、文化財保護課による、小中学生に向けた地域の歴史を知ってもらうための副読本の制作等の事業についても、歴まち事業に位置付け、連携して取組を進めていく。 さらに、動画「大津歴まち90秒大学」の活用拡大の検討を進めるとともに、多言語化にも取組み、インバウンドも含めた幅広い層に歴史的風致の魅力を周知していく。</p>			